



イヅナの本

其の二

温泉に行くの巻

カイとイツナは
温泉宿にやってきた

少し観光した後
温泉に浸かり
夕食をとっていた

楽しいなあ カイ
料理は美味しい

でも温泉と一緒に
入れなかったのは
残念だったな

それは仕方
ないだろう

男湯と女湯は
別なんだから
それより…

少し飲みすぎ
なんじゃないか

そんなことは
ないぞ

我はまだ
飲み足りない
くらいだ



またか？
風呂なら
さつき…

いいから行くぞ
準備しろカイ



まあお前がそう
言うなら酒はもう
やめておくか

それなら
風呂に行くぞ

我は風呂に
行きたい



ずいぶん上機嫌だな
そんなに温泉が
気に入ったのか？

…？ あれ

おいイツナ
さつきと違う
通路だけど
大丈夫なのか？

我に任せておけ
こっちでいいんだ
もう着いたぞ

ここで
間違いない

我はここに
入りに来たんだ
だからな

なあ 大浴場は
向こうだって
書いてあるぞ

貸切風呂

貸切風呂…

なんでお前
こんなところ
知ってるんだ？

ふふっ さつき
風呂に行った
帰りに小耳に
挟んだんだ



恋人らしき
二人が大層
楽しそうに

ここから出て
来たのを見てな

我もお前と
ここに入ろうと
思っていたんだ



ここなら
我らだけだから
気兼ねなく

温泉にいつしよに
入れるだろう

さっさと脱いで
夫婦水入らずで
楽しむとしようぞ

何してる
早く来ないか

風邪をひいて
しまうぞ

こらカイ
我らだけしか
いないんだ

そんなに離れて
入るやつがあるか

お...おう

まさかお前
照れているのか

家でもたまに
一緒に入るだろう

そ...そんな
じゃない



知っているか

ここは疲れに
よく効くらしい
最近忙しそうだし
良いと思っとな

イツナ…

お前…わざわざ
俺のために



ちゅっ



それに私のせいで
こうなったなら
むしろ嬉しい

裸の妻を目の前に
すればこうなるのも
自然なことだ

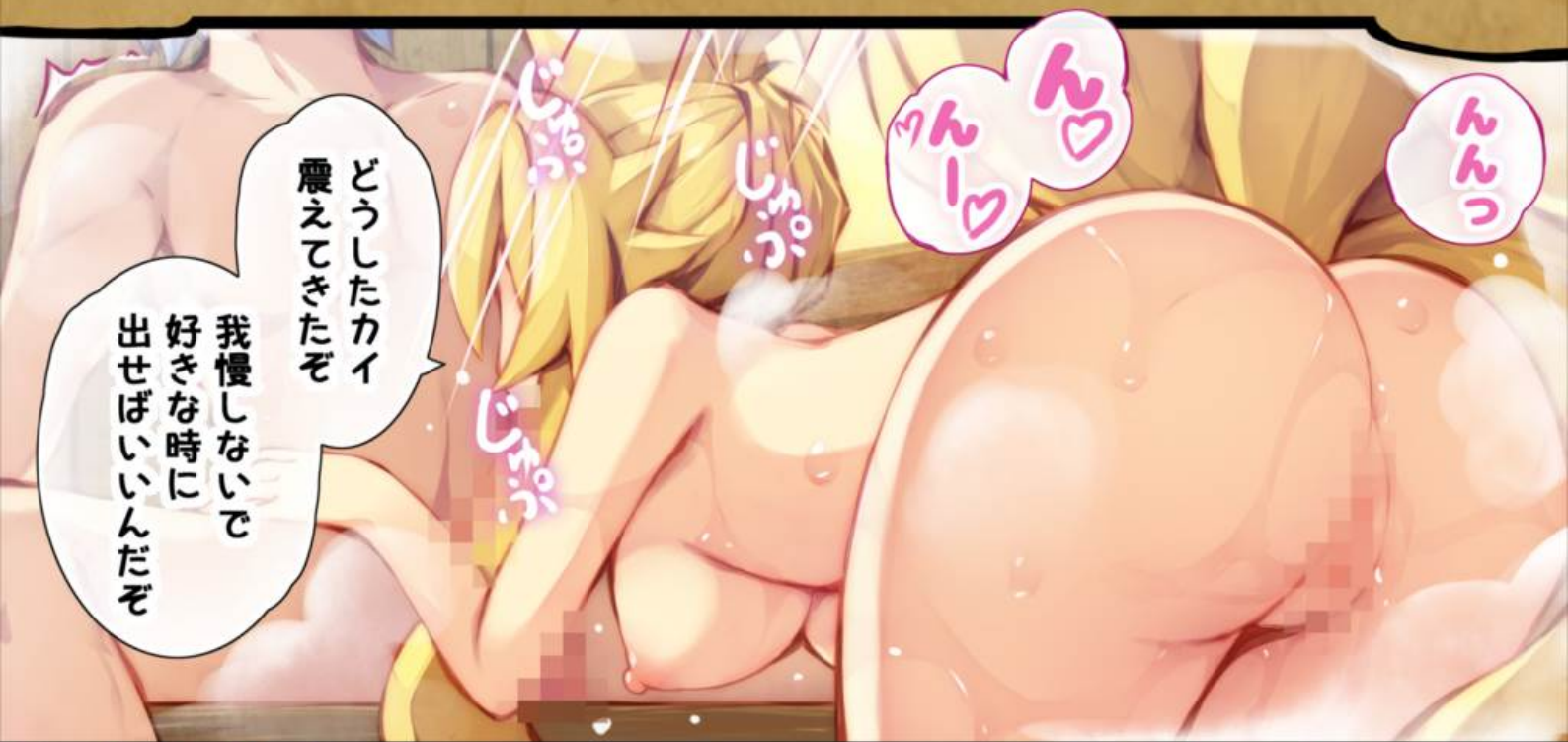
いや…その
これはな

ところでこれは
どうしたんだ？

温泉の効能でも
出てしまったのか

はっ





どうしたカイ
震えてきたぞ

我慢しないで
好きな時に
出せばいいんだぞ

んっ♡
んっ♡

んっ



ふっ

ふっ

ぺろ

ぺろ

んっ♡

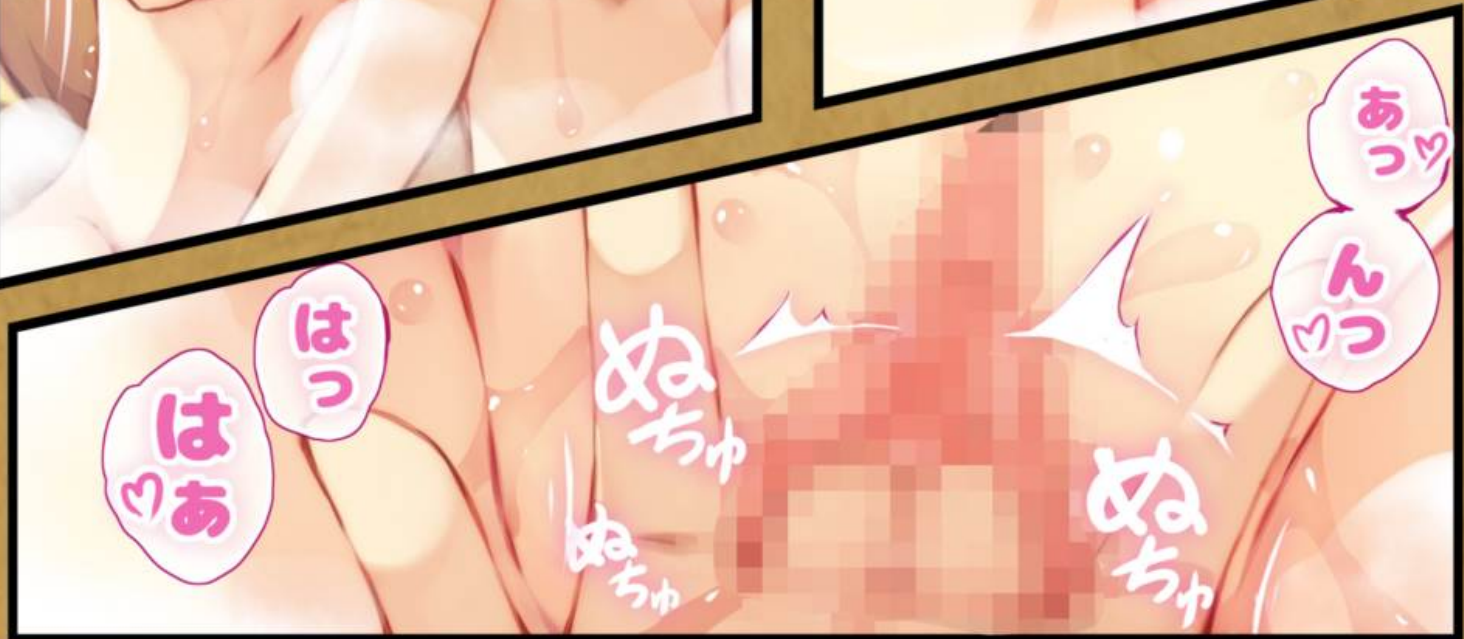
んっ♡

んっ♡

じゅぽ

ぢゅぽ

我慢を続けるなら
耐えられないくらい
可愛がってやるか







疲れに効く風呂の中でも
精力強化に効くという
温泉を選んだんだから…な！

♡ん♡つ♡

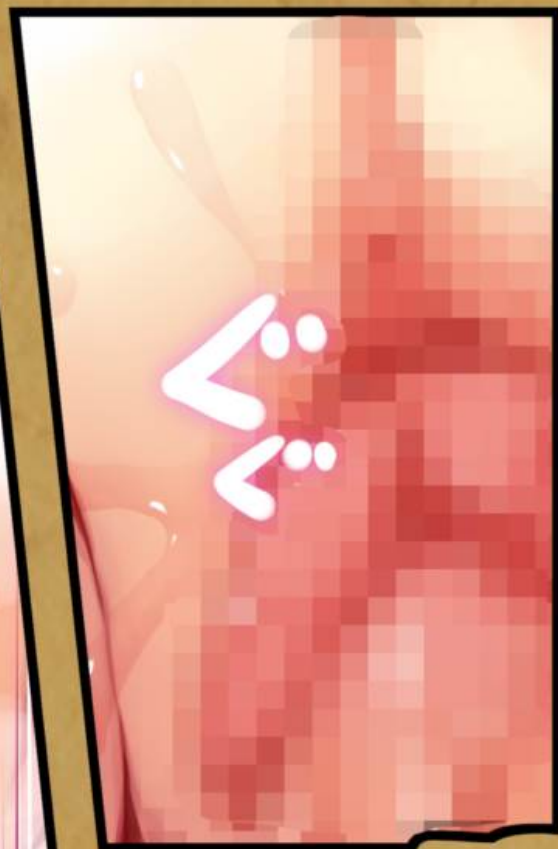
ずちゅん



すまんなカイよ
治まらなくて当然だ

今日の夕食は
特に精が付くという
料理を頼んだし

くちゅ
くちゅ



ぐ
ぐ









いいぞ
私の体で
満足いくまで
何度でも…

よかったぞカイ
満足できたか？

いや…出しても
出しても全然
治まりそうにない

むにむに

むにむに

はあ
はあ

ずず
ずず



♡♡

♡♡♡

んんん♡

ぽん

ぽん

ぽん

あ♡
んん♡

じゅわん

じゅわん



びびる

びびる

んあ

ぐん

ぐん

ぐん

どっぴん



ずちゅ

ずちゅ

ふふっ...

この温泉は

本物だな

カイがまるで

獣のようだ





いやいや我は
五回でも六回でも
かわまないぞ



はぁん♡
はぁん♡
はぁん♡

ぶる

ぶる

ぶる



ど どうした
大丈夫か?

カイ?
おいカイ?



はー♡

はー♡

はー♡

どうする?
このままもう一回
続けるか?



しっかりしろ
カイっ

んは…

俺たちの
泊まってる
部屋だ

どうして
ここに…

ん…

良かった！
目が覚めたか
心配したぞ

覚えているか？
貸切風呂で
のぼせたんだ

い…いやあ
その実はな…

風呂の途中で
異様に興奮したのは
覚えているけど
最後のほうは…

俺の体どこか
おかしくなった
のかな…

イツナは料理や温泉
を使って仕組んだ
事を白状した



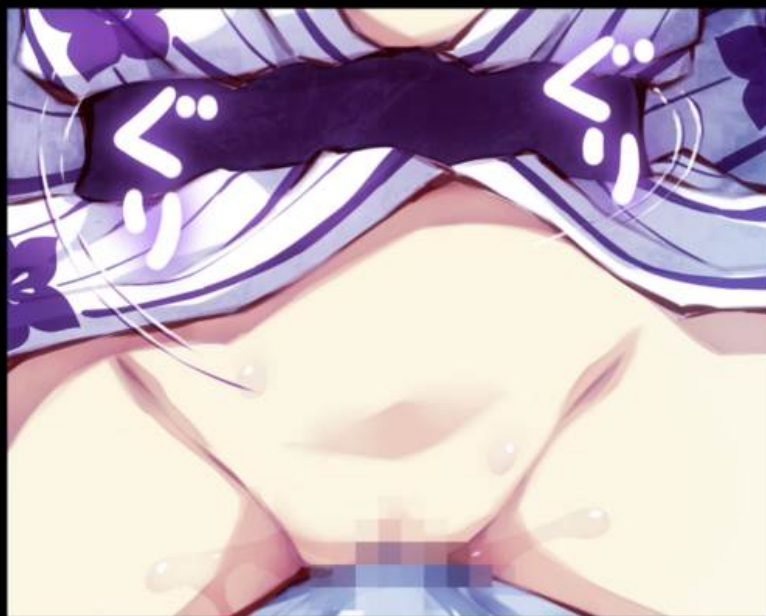
何でそんな…
本当におかしく
なったと思ったぞ

お前に元気に
なってもらおうと
思ったんだ

ついでに最近
回数も少ないし
そっちも強く
なればとな

少し効きすぎて
しまったが

お…おう それは
すまなかつたな
忙しくて…



だから今夜は
たっぷり付き合っ
てもらうぞ

温泉の効果もまだ
出てるようだしな

えっ!?

おい イツナ
そのままするのか

お前がさっき
倒れたから

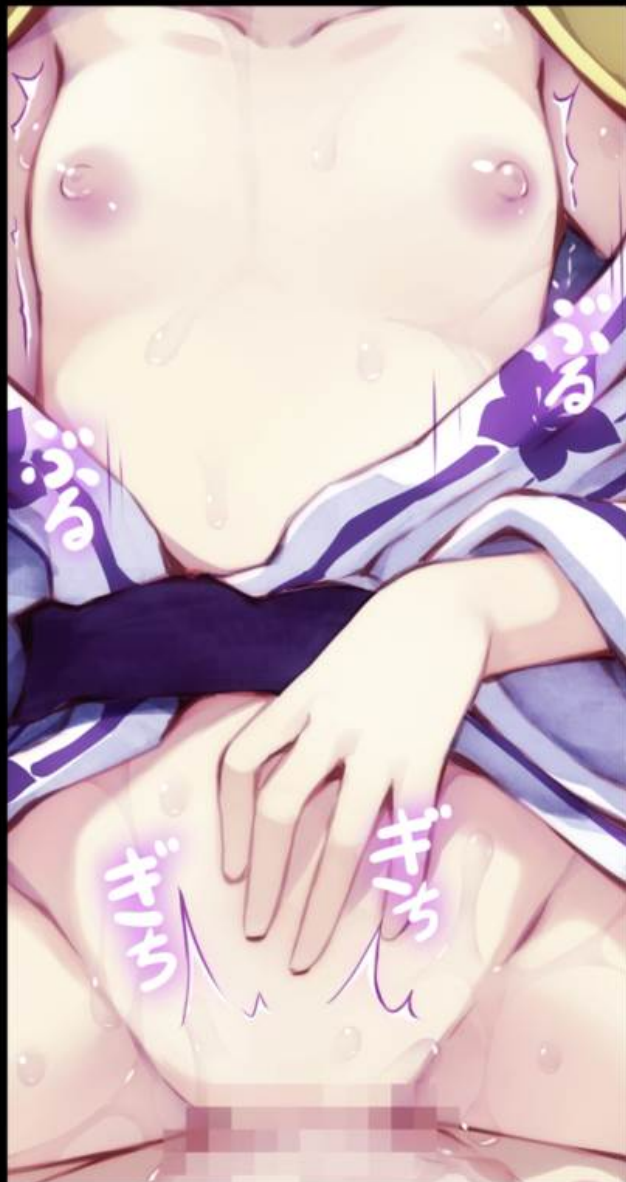
この姿に戻って
しまったんだ
仕方ないだろう

それにたまには
この姿でするのも
また一興だ

ぐ
ぐ

んあ

ぐ
ちゅん





どうしたカイ？
お前のほうからも
突き上げてくれ

その姿のお前を
相手に動くのは
なんだか躊躇ってな

大丈夫だ
見た目は小さいが
中身は我だぞ

それにされるが
ままとは夫として
少し情けないぞ













この姿なら
気兼ねなく存分に
まぐわえるだろう



カイ…
こっちに
来てくれ

ぐんぐんぐん



やはりこうしてお前の下に収まってるのが一番落ち着くな



遠慮しないで
我が何度でも

気をやって
しまっほと目茶苦茶
にしてくれ







あ
あ

あ
は

ぽん

あ
あ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぽん



ぜえ…ぜえ…
もう出ないぞ
俺は…

我も…
もう動けん
我も満足だ

今日はまだ一泊目で
旅行ははじまった
ばかりだからな

おしまい



お互い汗だくで
ひどいな

もう一回
風呂に行くか

お…お前また
何か…

何も無い
汗を流すだけで
心配するな





